

市長と語る会(花之木地区住民自治協)

平成27年8月18日(火)午後7時30分～午後9時
花之木地区市民センター

項目	市民の皆さんからいただいた主な意見等	その際の回答要旨
市道について	成和西小学校から法花への市道について、70メートル程であるが概略設計など進捗状況を教えて欲しい。出来る限り早く建設を進めて欲しい。	3年程前に拡幅しましたが、残るところは国道25号線までのところを第一工区と位置づけ、その残りが第二工区として三重県伊賀建設事務所と協議して岩根川の西川右岸の堤防の高さまで斜面部分を利用できるよう協議しています。現在は概略設計を進めており、来年度に詳細設計を行い、平成29年度には工事着工するよう計画しています。出来る限り早期に着工できるよう考えています。情報については随時区長へご案内します。
地域福祉計画策定について	7月11日開催された地域福祉タウンミーティングで「誰もが伊賀で暮らし続ける12の提言」の中間案が大変期待の持てるものであった。是非とも良い計画としてまとめていただきたい。	少子高齢化の問題があり、大事なことはいつまでも元気に過ごせることです。そのため疾病予防の施策が大事です。また、地域の皆さんの助け合いも大事です。全てを行政が担うには無理があるので、人がそれぞれの段階で助け合う絆づくりが必要です。皆さんが心配されているのが市民センターの自治センター化であると思いますが、地域それぞれの熟度など全く違いますのでそれぞれの段階で出来ることをまず行っていただきたいと思います。また、本日は女性も多く参加いただいていますので、これからも参画をお願いします。
財政状況について	YOUの新聞記事を見たのですが、伊賀市の財政健全性について、県下で2番目に悪い状態となっている。名張市では固定資産税を上げないとやっていけない状態となっている。伊賀市は大丈夫なのか。今後10年後にはどのような収支状況となっているのか。	市長として就任した時点では元利合計で約1120億円の借金があったが、現在は90億円ほど減らしている。起債のプライマリーバランスを保っており健全経営となっています。10年先までの収支バランスを計算しており、想定では10年後には200億円ほどの借金の残高を減らしていけるよう健全に財政運営できる状態と考えています。財政調整基金も過去最高の積み立て残高となっています。また、今後も引き続き、企業誘致をより推進するなど、市として収入を増やす計画をしています。
観光について	伊賀市に観光に来た人で、車を停めることができないため、結局観光もせずに帰ってしまったことを聞いた。現庁舎を図書館だけではなく、駐車場や、物産販売の場所が必要と思う。また、宿泊施設についても貧弱であると思う。	ご指摘のとおり、「観光に来てください」というが受け入れ態勢が整っていない状況があります。駐車場、食事の場、お土産購入の場、トイレ、外国人向け表示がないなどの問題があります。商工会議所からも現在の市役所跡地利用について「お城テラス」などとして提言をいただきました。人が集まって、そこから観光に向かうことができるベース基地のような設備があれば観光情報を提供してより観光客の誘致にも役立てられると思います。

図書館について	先日名張市の図書館に行ったとき、CDなどの視聴覚機器が大変充実していた。伊賀市の新図書館建設時には他の図書館に負けないような設備としてほしい。	上野の図書館はもっと充実したものにしなければなりません。視聴覚機器もそろっていないし、子育て中の親子が来館できるような防音ルームなど、誰もが楽しく利用できるような施設が必要です。高校生がハイピアのフロアで勉強していますが、もっと良い環境で自習ができたり、働いている人が夜間に利用できるような新しい交流の場として南庁舎を利活用していきたいと考えています。
農業集落排水施設について	農業集落排水施設について、岩根川から木津川へ合流する接点に施設があるが、大雨時には木津川への流れが堰止められる。そうなると当該地域に水害が発生するし、施設が水に浸かる可能性が大変大きくなる。その時に少しでも排水できるようにどうにかならないか。	農業集落排水については、当地域は伊賀市でのモデル地域として管理組合の皆さんの協力により成り立っています。内水の問題ですが、木津川への流れを止めることになり、排水機場を設けられればよいが、大変高額な予算が必要となるため国でも設置については厳しいものであります。処理施設の設置箇所について反省すべき点もあるかと思いますが、対処として機械設備が水没しないよう、施設を守るための手立てを考えていきます。
地域の自治について	地域の役割が増えるなかで、地元で暮らしていきたいと考えている人が健康寿命を延ばすことの手助けをすることが自治協の大きな仕事であると思う。今後、自治センター化となった場合でも儲かるような仕事をするのは難しいと思う。現在の自治協の中心はやはり各区であり、道路、農道、水路の管理は区が行っている。営農組合についてもしっかりと田畑を管理することが治山治水がなされている。区の活動についてももっと評価されるべきと思う。	自分たちのことは地域ですというのが、自治協の本来の姿です。自治協構想の指定管理については名張市が先進的な事例となっています。財政が厳しい中、地域のことは地域でやるというように自治協が活躍されています。区の活動などでもやはり若い人がいなければならないので、移住交流も一つの手段です。空き家を賃借してもらう時の仲介をする保証機関の役割を自治協が担って欲しいです。都市部では田舎への移住希望者は多数います。行政ができること、しなければいけないこと、地域で出来ることを協働して進めなければなりません。
学校施設について	<p>小学校の統廃合で廃校となった花垣小学校の体育館が利用できないと聞いたが、どういうことですか。災害時に緊急避難所として利用する必要があるので、行政の責任で管理・運営してほしい。</p> <p>花垣小学校のグラウンドのナイター施設は利用できるが、成和中学校の体育館や運動場は利用できない。また、花之木小学校のグラウンドでナイター設備を利用してグラウンドゴルフをしている。照明が暗いので増設して欲しい。</p>	<p>廃校後については、電気使用契約などの問題もあるため、現在教育委員会と調整しています。また、市街地調整区域内でありますので、新規の建物建設や現在の建物の利用に制限があります。この問題に関して、都市計画の線引きを外し、条例で管理をして地域にあった制限ができるよう現在検討中です。</p> <p>成和中学校については、電気契約を解除してしまっている可能性があります。府中の小中学校では地域からの寄付で照明をつけました。グラウンドの利活用の費用については、教育委員会へ確認し後日に回答します。</p>
空き地について	養護老人ホーム恒風寮が取り壊しとなり、9月に解体終了のようです。跡地の利活用の見通しについて教えて欲しい。現在は民有地であるが、空き地のままでは防犯上良くないので適正な管理をして欲しい。	確認をしたうえで、後日回答します。

<p>人・農地プランについて</p>	<p>人・農地プランの件で、当初「農用地」として水田だけを想定していたが、その後に青蓮寺パイロットファームの畑も対象地となることが判明した。当初の説明時から、しっかりと、はっきりとした説明をするべきである。</p>	<p>諏訪でも同様の問題がありました。農地に該当する分母の問題があるとのことです。伊賀市では地域性があるので全集落でお願いしています。195地域のうち30地域で計画が策定されています。まだこれから地域の特性を活用していく必要があります。</p>
<p>市役所職員について</p>	<p>市役所で手続きをする際に事前に電話連絡をして必要書類などの確認をしたうえで訪れるが、結局不足する書類などがあり手続きできないことがある。どのような職員教育をしているのか。</p>	<p>新庁舎では、総合窓口にしてワンストップサービスで対応していきます。また、職員の資質の面で、クレドカードといって職員行動指針を定めています。その中には「まず市民として考える」「目的や成果を常に意識する」「適切なプロセスを踏まえる」「職員力と組織力の向上」「恒常的な改善・改革の取組」「コンプライアンスの徹底と危機管理意識の醸成」を指針としているので、しっかりと実行するよう指導を続けます。</p>
<p>市広報について</p>	<p>市広報は現在月2回発行されているが、月1回で良いのではないか。財政的にも問題があると思う。</p>	<p>月1回でもいいと思います。今後検討をしていきたい。</p>
<p>リサイクルゴミについて</p>	<p>ゴミ集積場に廃棄したリサイクルゴミについて、古新聞やアルミ缶が業者によって持ち去られている。業者に遭遇したときには、注意しているし、監視もしている。市が委託している業者か否か分かるようにしてほしい。また、看板の作成なども検討してほしい。</p>	<p>どの地域でも同様の問題があります。リサイクルゴミに関しては、市の財産であるため監視パトロールなどを実施しています。持ち去りは窃盗罪となる。去年は3件警察に引き渡した案件があります。先進地の事例などを研究していきます。</p>